



感動価値創造 magazine Xi [sai]

2024

08



究極のフレキシビリティ 新しいバーサファイア LP&LV

ハイデルベルグのデジタル印刷システム、バーサファイアには、LV (Value: 付加価値) とLP (Performance: 生産性) の2種類のラインナップがあります。バーサファイア (Versafire) の名称は、“多様性がある”ことを意味する“Versatile (バーサタイル)”から由来しています。



大量生産からマスカスタマイゼーションへ

昨今では商品のターゲティングがより細分化され、個人を意識したマーケティングへシフトしてきていることから、印刷も含め大量生産からマスカスタマイゼーションへと時代が移り変わってまいりました。

そのような中で、印刷のプロである皆様にも“多様性”をもって様々なアプリケーションや印刷シーンに活用していただける印刷機でありたいという想いがバーサファイアにこめられています。

生産性や安定性・持続性を考慮

そんなバーサファイアですが、バーサファイアLPは多様な原反や用紙に対応するだけでなく、生産性や安定性・持続性を考慮した製品構造などパフォーマンスを意識した機能が充実していますが、その中でも特筆すべきはそのスピードです。A4で月間最大260万ページの生産性を誇り、大量の処理に優れています。まだまだオフセット機には生産スピードでは至らないかもしれませんが、刷版交換や色合わせなどの調整時間を含めると、前準備時間がいらず、オフセット機の半分強の生産スピードでつねに印刷できる印刷システムとして捉えると、オフセット機に十分変わることができるパフォーマンスです。最近では仕事あたりのロット数の減少や細かい仕事の増加、発注側がストックを持たなくなったなど、色々な声を耳にします。もし自社に

眠っている菊四裁判の印刷機などがあるのであれば、オフセット機の買い替えや廃棄を考える前に、デジタル印刷システムに切り替えるということも一つの選択肢になるのではないのでしょうか。

デジタル印刷システムによって得られる様々なメリット

小ロットにすばやく対応できることはもちろんのこと、バリエーション印刷もできるので新しい営業案件への対応や、営業商品の開発ができます。バーサファイアLVならではの様々な用紙への印刷や、ネオンカラー、ニス加工などを使用した付加価値の高い、目を引く印刷も特徴のひとつです。オフセット機と比べ、導入費用の面でも有利なため、ローリスクで新たな営業戦略を考えることができます。

バーサファイアLP&LVは、オフセットとデジタルの融合により、小ロットや印刷の難しい製品の生産において、圧倒的な効率とコスト効率を実現します。2つの印刷方法の利点を組み合わせ、競合他社より一歩先にすることで、印刷能力に革命を起こします。また業界でも類を見ないハイデルベルグのカラーマネジメントは、オフセットとデジタルの切り替えを簡単かつ柔軟に行うことができ、工場全体の生産性を高めることにつながります。小ロットや大ロットでも、バーサファイアシリーズはあなたをサポートします。どんなに小さく複雑な仕事も、バーサファイアにお任せください。



新しくなったバーサファイアシリーズで、ゲームのルールを変えましょう。
新しいバーサファイアは最先端の技術と使いやすいシステムを組み合わせ、
シームレスで高品質な体験をご提供します。

ハイデルベルグ・ジャパン株式会社

〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8 TEL(03)5715-7377
www.heidelberg.com/jp

HEIDELBERG



LITHRONE GX/G

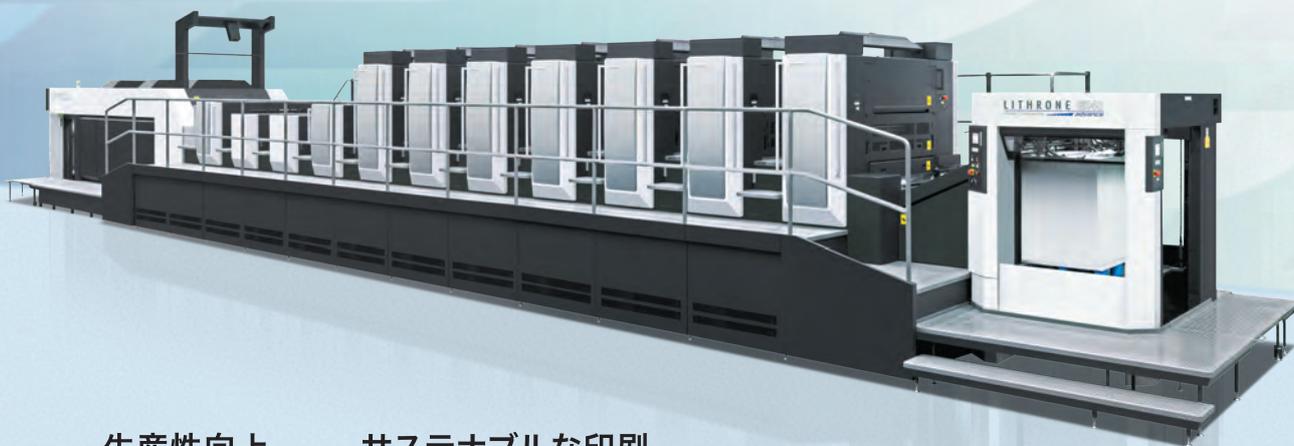
advance

EX Edition

リスロンGX/Gアドバンス EXエディション 生産性とサステナビリティの新基準

世界最高クラスのROI*1を誇り、全世界での導入が進むオフセット枚葉印刷機、リスロンGX/Gアドバンスシリーズ。KOMORIはさらなる生産性向上とサステナブルな経営を実現するため、革新的な新機能を搭載した新しいリスロンGX/Gアドバンスシリーズを開発しました。最新のプリントテクノロジーを駆使し、エネルギーコストの抑制と印刷オペレーターの作業効率向上を実現するリスロンGX/Gアドバンスシリーズは、ビジネスを新たな次元へと引き上げます。

*1 投資収益率 (Return on Investment)



生産性向上



サステナブルな印刷



Photo: GLX-740A
※写真のモデルはオプション仕様を含んでいます。

KOMORI

株式会社 小森コーポレーション

〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 Tel. 03-5608-7806(代表)

おクルマのご購入をお考えの皆様へ!

お車購入の際は
事前にご一報ください。

東京海ジョー



- 全メーカー・全系列対応します!
- 商談後にお断りになることも自由です!
- 日頃付き合いのあるディーラーでもOK!
- 新車・中古車どちらもご相談ください!



自動車販売店とご商談を開始する前にご相談ください。



東京海上日動 車両情報センター フリーダイヤル ☎ 0120-086-590

※営業時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日休業 ※全印工連の組合員である旨お申し出ください! 併せてご連絡先、購入希望の車種などお伝え下さい。

あなたのための、DXでありたい。

DXという言葉がなかった時代から、
デジタルでビジネスの仕組みを変えてきた大塚商会。
テレワークやAIの活用、紙文書の電子化など、
新しい働き方を時代に先駆けて自ら取り入れ、
体感し、お客様に提案してきました。
あなたのビジネスの現場で、
ほんとうに役に立つ生きたソリューションを。
それが、大塚商会のめざすDXです。



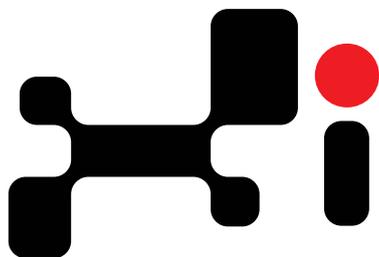
あなたのビジネスに、大塚商会の提案力と対応力を。
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/dx/>



 大塚商会

株式会社大塚商会 東京本社: 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡





CONTENTS

| | |
|---|----|
| 業態変革その先 一心社(大阪府大阪市) | 6 |
| 日本プリンティングアカデミー オープンキャンパス | 13 |
| チーム全印工連 / 委員会紹介 産業戦略デザイン室 | 14 |
| 2024 全印工連フォーラムのご案内 | 16 |
| 共創パートナー企業 ソリューション提案「Colors of Heidelberg」 | 17 |
| 工組紹介 福島県印刷工業組合 | 18 |
| 全青協 印刷の未来と AI が生成できないもの | 19 |
| 会計 交際費から除かれる 1 万円基準 | 20 |
| 令和 6 年度 上期地区印刷協議会開催結果 | 21 |
| 全国の印刷関連イベントのお知らせ | |



[本号の表紙]

本号の表紙では福島県の伝統工芸品「会津塗」をご紹介します。会津塗は、福島県会津地方で生産される伝統的な漆器です。約400年前の安土桃山時代に始まり、その歴史と技術は長い間受け継がれてきました。特徴は、木材に漆を何層にも重ねて塗り、その後、蒔絵や螺鈿(らでん)などの装飾を施す点にあります。これにより、耐久性が高く、美しい光沢を持つ仕上がりとなります。

会津塗は、日常使いの食器や家具、装飾品まで幅広い製品に応用されています。特に、お箸やお椀などは高い評価を受けており、その品質と美しさから贈り物としても人気があります。また、現代においても伝統的な技法を守りながら、新しいデザインや用途を取り入れることで、若い世代にも愛されています。会津塗の制作には高度な技術と時間が必要であり、今なお、職人たちはその技を磨き続けています。会津地方を訪れ、実際に職人の技術と情熱を感じてみるのもおすすめです。

NO.724

令和6年8月10日発行(毎月1回10日発行)昭和44年4月26日第三種郵便物認可 発行人/瀬田章弘 編集人/高橋秀明 発行所/全日本印刷工業組合連合会 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 TEL.03-3552-4571(代) FAX.03-3552-7727
<https://www.aj-pia.or.jp>

本誌では、本文に(株)モリサワのユニバーサルデザインフォントを使用しています。



代表取締役社長 浦久保康裕氏

CASE STUDY

業態変革その先

一心社(大阪府大阪市)

印刷 × 福祉が生み出すコンテンツ(事業) “働きにくい”と感じる若者の就労を支援

発達障害やストレス性障害(適応障害)により、一般企業への就職、就労継続が難しい若年層が増加傾向にある。発達障害や適応障害への認知の拡がりや、職場とのミスマッチ、理解不足など様々な要因が絡んでおり、社会課題の一つとなっている。

株式会社一心社代表取締役社長の浦久保康裕氏は2022年2月、そうした課題の解消を目指し、子供向けにエンターテインメントコンテンツを開発する株式会社キッズ・プロジェクト、家庭の事情でキャリアを諦めない世界を作るをテーマに、子供を持つ母親とクリエイティブサービスを提供する株式会社JAMSTORE、福祉サービスを提供する株式会社シーアイ・パートナーズなどのパートナーとともに、クリエイティブ系技術の教育と就労支援を提供する『株式会社TECTEC』を立ち上げた。

TECTECでは、実践型スクール(自立訓練)『TECTEC SCHOOL』、就労継続支援A型・B型事業所の『TECTEC CREATIVE』を通して自立訓練から就労継続支援、フリーランス、一般企業就労まで、働くことに悩みを持つ若者をサポートする。

浦久保氏にとって、TECTECの事業は社会課題の解決手段でもあり、ライフワークの一つでもあるが、経営する株式会社一心社の変革への道筋でもある。加えて、福祉事業と印刷事業を組み合わせたスキームにより、若者の就労支援を実現するとともに、中小印刷業のリソース不足、人材不足を補う可能性までを見据えている。

テクノロジー × クリエイティブ × エンターテインメント TECTECの立ち上げに当たっては事業再構築補助金の給付を受け、大阪市天王寺区の一心社本社と隣接する建屋を改築。自立訓練と就労継続支援A型事業所・B型事業所、ワーキングスペースを設けた。

スクールでは、一心社が培ってきたDTPやWeb制作などのノウハウに加え、各プロフェッショナルがゲームやエンターテインメントコンテンツ、映像の技術を教える。



「不自由」を「自由」に
TECTECプロジェクト



クリエイティブ系のスキルを身に付ける TECTEC SCHOOL

就労継続支援 A 型事業所・B 型事業所では、パンフレット・チラシ制作や SNS 運用支援、ライティング、Web ページ制作、バックオフィス業務、ゲームのデバッグ作業など主にクリエイティブ系の業務を請け負い、利用者が実際の仕事を通して実践経験を積んで“クリエイター”を目指す。ワーキングスペースはフリーランスになった利用者がここで働けるように設計されている。

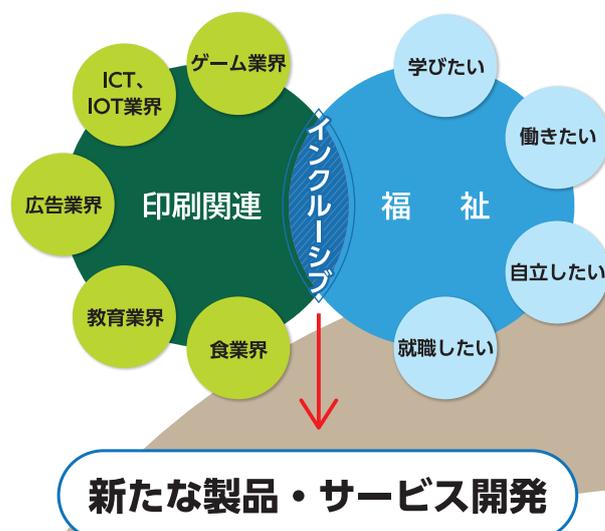
利用者は技術の習得に加えて、ビジネスマナーやコミュニケーションなど社会性を身に付けるためのソーシャルスキルトレーニングも受ける。TECTEC を共同で運営するシーアイ・パートナーズは指導員などの職員がメンタルケアや適正診断の面から利用者をサポートする。

スクールは開所以来、利用者が増え、大阪市住吉区に TECTEC SCHOOL 長居駅前校を開校。A 型事業所・B 型事業所でも一心社の業務のアウトソーシングをはじめ、各方面から仕事を受注している。受注した仕事は、利用者が作業しやすいよう、業務のマッチングや切り出しなどで適正化し、難易度が高ければ TECTEC の講師をはじめ、プロフェッショナルに振り向ける。

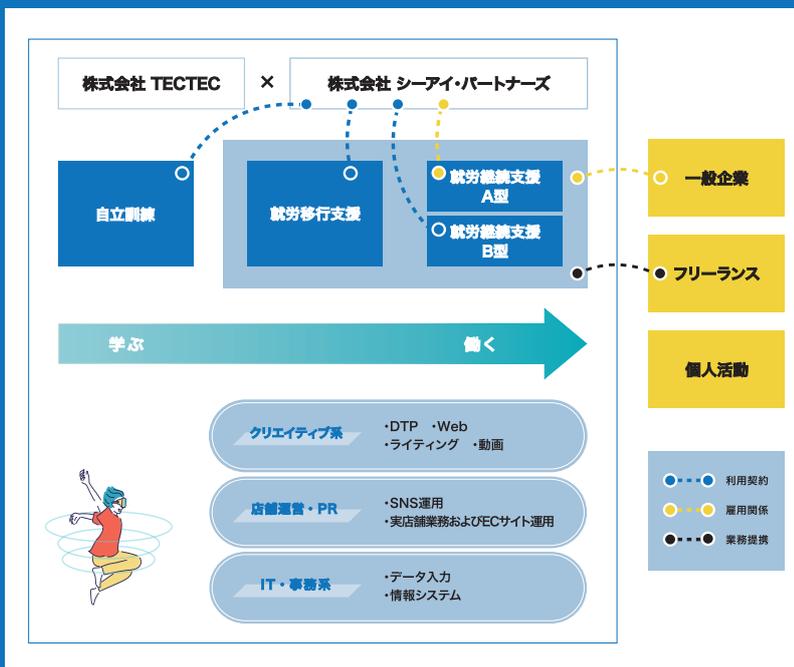
TECTEC が立ち上がってまだ 2 年だが、描いたスキームはほぼ順調に動き出した。その上に、浦久保氏はこの TECTEC のスキームの中に、“印刷×福祉”という新

しい価値を生み出す光を見ている。

生産労働人口の減少に伴い、国内の各産業で人手不足が深刻化している。もはや構造的な問題で、一朝一夕で解決するものではなく、印刷産業も同様の課題を抱える。とくに企業の DX 指向が高まる中、IT 系人材の需給バランスは偏る。TECTEC で技術を獲得した若者とともに協業することで、そこに人材不足の解消とひいては印刷以外の新商品・新サービス提供の可能性が浮かんでくる。



お仕事サポート体制



現役

①クリエイターのリアルな指導

活躍中のクリエイターならではのアドバイスでより実践に即した学びを提供します。

②ビジネスシーンに即したSST

SlackやZoom、Google MeetなどのITツールを用いたコミュニケーションがベース。実務を通してスキルが自然に身につきます。

③多様な業務から得意を活かしてチームで働く

InstagramやTikTokなどのSNS運用、デザイン、ライティング、校正などクリエイティブを中心とした幅広い業務におけるチームの一員になります。



TECTEC の構成とスキーム

事務用印刷から商業印刷へ 紆余曲折を経て一心社入社

株式会社一心社は 1949 年、活版印刷会社として創業。伝票を主軸に教育、医療、金融向けの事務用印刷の分野で事業を伸ばしてきたが、事務用印刷市場は 1990 年代以降、企業の OA 化に伴う伝票レスの流れから成長に陰りが見えてくるようになった。浦久保氏が一心社に入社したのは、雲行きが怪しくなったその頃で、34 歳を迎えていた。

大学卒業後、浦久保氏は入社した奈良県に本社を置く印刷会社を 3 年で退職。1985 年、25 歳の時に設計事務所等の支援を受けて仲間 4 人で制作プロダクションを起業した。日本は空前絶後のバブル経済の入口に立っていた。

「最初に就職した印刷会社が商業印刷をベースにしている、私は大手生命保険会社を担当し、販促物の仕事に携っていました。起業した会社のスポンサーだった設計事務所はバブル経済に乗って、レジャー施設や商業施設の開発で忙しくなり、人員の派遣を要請されました。もっと仕事が引張って来られるのではと考え、私が直接、その設計会社に入りました」

浦久保氏は 27 歳で設計事務所の役員になり、企画チームを率いた。仕事は順風満帆に進むかに見えたが、バブル経済が崩壊し、設計事務所は倒産。その後、3 年をかけて共に働いた設計事務所のスタッフの再就職を手助けし、制作プロダクションも離れた。否応もなく家業に入るしかなかった。

「私は父親との反りが悪く、当時、私の姉婿、義兄が社長として働いており旧態依然とした環境で、そんな会社で働くことに抵抗感もありました。また、当時は印刷会社ということに対して全く魅力を感じていませんでした」。浦久保氏が 34 歳まで家業から目を背けてきたのは、家族のしがらみに束縛されない仕事に就きたいがためだった。

一方、浦久保氏が設計事務所時代に培った大手デベロッパーや建設会社のネットワークは、伝票主体だった一心社の業態を変え始めていく。チラシやパンフレットに限らず、プロモーションやブランド向上のための CI 支援など、新しい顧客を開拓するとともに、電算写植機による組版から Macintosh による DTP へと制作体制を刷新。クリエイティブを主体にする現在の一心社の礎となった。一心社にとって最初の業態変革である。



交流会も開かれるフリースペース



就労継続支援 TECTEC CREATIVE

障がい者支援をライフワークに

一心社に入社した浦久保氏は、大阪青年会議所の活動にも参加するようになる。1997年に大阪府で開かれた“なみはや国体”に伴う『全国身体障害者スポーツ大会』（現全国障害者スポーツ大会）では大会をサポートする実行委員長に就任した。

「大阪で国体版のパラリンピックのような全国身体障害者スポーツ大会が開催され、地元の青年会議所がサポートするから、その前年の大会を視察してこいと言われて、その時に初めて障がい者のスポーツに触れました」
先天、後天を問わず腕や足など身体が不自由な人たちが懸命に競技する姿は衝撃的だった。大会のスタッフも懸命に選手を支えて、競技を成立させている。大会の会場でも使用された大阪市長居障がい者スポーツセンターで、障がい者スポーツに取り組む人たちに話を聞くと他人事には感じられなかった。誰でも身体が不自由になる可能性を持っている。事故や病気によっても、加齢によっても体の機能が失われるかもしれない。

「障がい者スポーツはリハビリからスタートします。スポーツを通してながら、徐々に失われた機能を回復するだけでなく、傷ついた心も回復させていくのです。突然、身

体が不自由になれば誰でも絶望すると思います。でも、皆に支えられ、どん底からスポーツを通して生きる力を得るのが障がい者スポーツです」

2005年、浦久保氏は障がい者スポーツを支援する『特定非営利活動法人アダプテッドスポーツ・サポートセンター』を開設した。“アダプテッドスポーツ”とは障害に応じて、ルールや道具を工夫してアダプト（適応）させるスポーツで、例えば車いすを使ったテニスやバスケットなどがある。

障がい者の支援は浦久保氏のライフワークといえる。2006年に全国青年印刷人協議会の議長に就任した浦久保氏は、事業にメディアユニバーサルデザイン（MUD）を取り入れ、翌年に全印工連とともに『第1回メディアユニバーサルデザインコンペティション』を実施している。

「MUDも使いづらいとか、見えづらいところを調整して、みんなが使いやすく、見やすくしていくという考え方です。不便なところが分かれば改善点が見えてくるので、そこをアダプトしていくわけです。障がい者スポーツもそうで、私のそもそものマインドセットがそこにある気がしています」

見えた自前のコンテンツ 請け負いからの脱却

2020年春、世界を襲ったコロナ禍はあらゆる産業の活動を停滞させた。商業印刷に舵を切っていた一心社も例外ではなかった。売上が減少し、公的補助金を受けながら何とか事業を継続することができた。

浦久保氏はコロナ禍前から商業印刷の限界を感じ、「請け負い」の業態をどう変えていくべきか煩悶していた。「中小零細企業はコロナの時も、天変地異の時も、景況や相手に翻弄されます。自前のコンテンツで主導権を持ちたいとずっと思っていたのですが、答えが見つかりませんでした」と悩み続けていたが、めぐり巡ってたどりついたのはライフワークとして取り組んできた障がい者支援だった。自らの力で事業再構築補助金に申請、認可されたことは「自分の考えを分かってくれた」と自信にもつながり、その後のTECTECの立ち上げの原動力にもなっていく。

ほとんどの就労継続支援A型・B型事業所は、商品の袋詰めや送付物のアッセンブリなど付加価値を上げにくい作業が一般的である。その理由の一つが、福祉事業者の指導員が教えられる業務しか提供できないという現実。TECTECはそこに風穴を開け、付加価値を高めやすいクリエイティブ系、IT系の業務を受託できる体制を整えた。利用希望者が多いのはそのためで、指導員もクリエイティブを目指していた若い人たちが応募してくる。

「TECTECの指導員は、茶髪だし、厚底を履いていたりするわけです。多くの福祉事業所が指導員不足に悩んでいるようですが、TECTECではそんなことはありません」企業の法定障害者雇用率は今年4月、従業員40人以上の事業所を対象に2.5%に引き上げられた。2026年7月には従業員37.5人以上の事業所を対象に2.7%

となり、企業にとって大きな課題になる。

加えて人材を送り込む大学では卒業生の就職率や定着率が受験生の数に影響するため、発達障害を持つ学生の就職に悩む。浦久保氏はそうした双方が抱える問題に対し、障がい者の就労支援から得られる知見、ノウハウが活かせると確信している。

「企業側には障がい者の雇用義務があります。大学側も卒業生がせっかく学んだことを活かさない課題を持っています。企業側にTECTECでスキルを学んだ若者を雇ってもらい、大学側にサービスとして学生のアセスメントや実際の職場でのOJTなどの支援を提供できるのではないかと考えています」

おそらく一心社にとっての“自前のコンテンツ”がここにある。

一心社とTECTECでそれぞれが持つ機能を活かしながらこれまでにない製品やサービスの提供は可能になっている。一心社ではTECTECが行う事業の関連企業の家賃収入も入り、また印刷業務においても新たな取組が始まるなど見えている部分については社員も認識して変化を感じているという。ただし、本命は、就職・雇用支援やアセスメント支援というコンテンツが活かせる部分である。

浦久保氏の念願だったコンテンツは形が見えてきた。その先にあるのが“SR調達”であり、「結びついていく部分がきっとあると思います」と見据える。

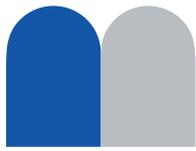
なお、“印刷”と“福祉”を掛け合わせたTECTECは千葉、京都、沖縄でも展開され、全国に広がりつつある。地域に根差す印刷業やクリエイティブ業に適応した新たなスキームであり、今後、各地から新しいコンテンツが現れてくるかもしれない。



ワーキングスペース

株式会社一心社

代表者：代表取締役社長 浦久保康裕氏
従業員：11名（2024年7月現在）
所在地：大阪市天王寺区大道1丁目14番15号
<https://www.isshinsha.com/>



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール

morisawafonts.com



モリサワ



モノ・コトづくりが「好き」「興味がある」人、集まれ!

夏の OPEN CAMPUS 2024

詳細・申込はこちら!



事前予約制・個別開催

8月 3(土) 4(日) 5(月) 6(火) 7(水) 8(木) 9(金)
21(水) 22(木) 23(金) 24(土) 25(日) 26(月) 27(火)

午前の部 10:00~12:00 午後の部 14:00~16:00



夏限定 選べる! 体験講座

こんな人にオススメ!

- デザインに興味がある人
- デザイナーを目指したい人
- モノづくりを仕事にしたい人

自分が描いたイラストやスタジオで撮影した自分の写真を使ってデザインできるよ!



01 体験講座

うちわデザイン体験

暑い夏にピッタリのうちわをillustratorを使ってイチからデザインしよう!



参加特典

特典 スターバックスカード
01 1000円分プレゼント!



特典
02 学校オリジナルグッズ
プレゼント!



特典
03 参加時の面談を受けると
受験料&面接が免除!
*詳しくはイベント参加時にご相談ください

作り方は先生が丁寧に教えてくれるから安心して参加できるよ!



こんな人にオススメ!

- マンガ・本が好きの人
- 本づくりに興味がある人
- 本づくりにかかわる仕事をしたい人

02 体験講座

和綴じノート制作体験

日本古来の製本技術「和綴じ」で仕上げて夏らしいデザインのオリジナルノートを作ってみよう!



その他のプログラム



- 学校説明
- 校内設備&施設見学
- 個別進路相談

自宅から簡単参加

スマホ・PCで参加できる!

学校のことがよく分かる!

オンライン学校説明会

事前予約制・毎日開催

所要時間 40分 ▶ 業界&学科紹介 ▶ 校内施設・設備紹介(動画) ▶ 質問タイム



「モノ・コトづくり=印刷」を極める。
学校法人 日本プリンティングアカデミー 東京都認可校
〒112-0002 東京都文京区小石川 4-13-2 平日 9時00分~17時30分

TEL 03-3811-2734

Email info@jpa.ac.jp

HP https://jpa.ac.jp/

印刷 専門学校

検索





産業戦略デザイン室

委員長 江森 克治

10年後のあるべき姿へ 戦略づくり

成果につながる 具体的なアクション目指す

今期から産業戦略デザイン室の委員長を仰せつかりました神奈川県江森克治です。2年間よろしくお願いいたします。

産業戦略デザイン室は中長期的な予測を基に、私たちが進むべき道筋を提言する組織として2010年に設立されました。中小企業1社で自社の長期的な道筋をつけて戦略を実行していくには難しいものがあります。市場が成熟、縮小する中で、椅子取りゲームが続いています。産業戦略デザイン室の役割は、その椅子を増やす方策を示すために、中小印刷業者が集まって戦略を考えていくことです。

産業戦略デザイン室ではかつて様々なビジョンを示してきました。しかしながら、その成果が産業全体として表れてくるのが遅いと感じています。様々な阻害要因があって、示されたビジョンに取り組めていないことが大きな原因です。もちろん足元の課題に向き合うことは必要です。ただ10年後の課題に対応して成果を出すためには今から取り組まないと間に合いません。全印工連がCSR(企業の社会的責任)に取り組み始めたのは10年前です。今まさにCSRが問われる時代になりました。「やらなければ」では

なく、組合の皆さんが「やりたい」と思えて、ワクワクするようなインセンティブを作って行きたいと考えています。

産業戦略デザイン室の活動方針は次の3つです。

- ・ innovate our business
- ・ create our pole star
- ・ change our position

一つ目の「innovate our business」では、これから20年間のメディアの変化量がこれまでの比ではないと言われる中、バックカスティングで未来における印刷産業が活躍できる場を考えていきます。10年後の社会の形やニーズを踏まえた時に、我々の技術がどう活かされていくのか、その環境づくりに取り組みます。

衣料品の製造小売・ユニクロが年に2回発行している『LifeWear magazine』は150万部が印刷され、店頭で置く間もなくなくなります。当然、コンテンツはWebにも展開されています。デザインやレイアウトのノウハウがポイントで、紙媒体を起点にしてコンテンツを届けているといえます。

産業戦略デザイン室のミッション

印刷産業が勝つための戦略の策定

全印工連各社がサステナブルな経営を進める上で必要となる
全局的な作戦計画を立案・実行し、
我々に有利な時代の流れを作ること。

全日本印刷工業組合連合会

ビジョン3 + 1

- change our position
- innovate our business
- create our pole star
and...
- good public relations

全日本印刷工業組合連合会

innovate our business

イノベティブな未来を
バックキャストで構想

これからの20年のメディアの変化は、これまでの比ではないと見られます。未来における印刷産業の活躍の場をバックキャストで切り拓きます。



全日本印刷工業組合連合会

create our pole star

誰もが憧れ、目標にする
希望の星の創造

高度成長期、人々は「印刷」という仕事に憧れに集って来ました。印刷の社会的使命が変化した今、人々が憧れ、目標にする「新たな北極星」を創造します。



全日本印刷工業組合連合会

change our position

公共調達改革を通じた持続可能な
共創型地域社会の実現

物価高の流れを受けて環境に変化。持続可能な公共調達に関する全国の好事例を収集し、ベストプラクティスの提案と、啓発および全国への普及活動を行います。



全日本印刷工業組合連合会

good public relations

広報誌のリニューアル
感性に訴える効果的な広報の実現

広報誌のリニューアルや更新するWEBサイトの活用等、新たな広報戦略を通して、感性に訴える多様なニーズに応える広報活動を実現します。



全日本印刷工業組合連合会

仮に20年後、30年後にスマホがなくなっていたとしたら、私たちはきっと違うメディアでコンテンツを見ることになるでしょう。それでも紙媒体が作られ、ユニクロの雑誌のようにコンテンツ配信の起点になっていく戦略立案に挑戦していきます。

二つ目の「create our pole star」(pole star=北極星)では、印刷業に限らず情報伝達に関わるあらゆる人たちが目指す業態を考えていきます。昨年、広島で開かれた全印工連フォーラムで、SF プロトタイピングを基に、モノづくりと実体験を提供するXI (エクスペリエンスインテグレーター：統合体験業)という職業を仮想し、クリエイターの未来像として示しました。印刷業をはじめ、デザイナーや企業の広報担当、広告代理店など、様々な業種の人たちがそうした業態を目指すという仮説なのですが、産業戦略デザイン室では XI のように情報伝達に関わる人たちを引き込むための新しい枠組み、魅力を作っていきます。印刷業の再定義ということではなく、自然に溶け込めるようにしたいと考えています。

三つ目の「change our position」では、SR(社会的責任)に沿って、公共調達の中に私たちの確たる立ち位置を築いていきます。価格だけで競争するのでは誰も幸せになりません。持続可能な公共調達に関する全国の好事例を収集し、官民共創の新しい受発注モデルとして、官公庁や自治体に SR に沿った調達の啓発と全国への普及活動を行います。

この三つの課題に取り組むに当たっては、副委員長をリーダーとする各分科会を設け、情報を共有しながら進めていきます。さらにプラスα「good public relations」として、全印工連の広報誌をリニューアルするとともに、Web サイトの活用など組合の皆様の情報ニーズに応えていきます。

産業戦略デザイン室のメンバー一同、10年後に「あつてよかった」と言って頂ける戦略立案を目標に事業を展開してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

「2024 全印工連フォーラム」 を大阪で開催！

「2024 全印工連フォーラム」が大阪府・スイスホテル南海大阪にて開催されます。
日程は令和6年9月27日(金)で、スケジュールは下記を予定しております。



■スケジュール(予定)

- | | |
|---------------|--|
| 13:00 ~ 14:25 | 全体会議-1部- (1)開会挨拶 (2)講演会 (3)会長メッセージ |
| 14:40 ~ 16:00 | 理事長会・各委員会等・全青協代表者会議 |
| 16:15 ~ 17:05 | 全体会議-2部- (1)各委員会報告 (2)総括メッセージ (3)閉会挨拶 |

懇親会

Colors of Heidelberg

～印刷の常識が変わる、環境に優しい高精細スクリーニング～

ここ数年の間に印刷業界が置かれている状況が大きく変わりました。環境対応はもちろん、原材料の高騰、エネルギー価格の上昇など、同時にコスト削減も実現しなければなりません。特に、人口の減少は経済成長に対する大きな障害となる反面、また高齢化に伴う労働力の減少は、多くの産業において、生産性の向上やイノベーションの必要性をより高めていく結果となってきています。

ハイデルベルグでは、このような流れを捉え、複雑な要求に対し、シンプルで無駄のない生産体制、ワークフローで支え、収益性の高いビジネスモデルが構築できるようエンド・ツー・エンドのソリューションを提供しています。ハイデルベルグの革新的なカラーテクノロジーは、それらの課題を解決するソリューションのひとつです。

オフセット印刷の技術は活版印刷に始まり、その後、角度や形状、そして大小でトーンを表現できる網点・スクリーニング技術が確立され、今日のオフセット印刷にいたります。そして CtP という技術が後押しし、オフセット印刷における網点・スクリーニングは AM、FM、ハイブリッドと進化を辿りました。

現在では一般的に流通される印刷物のほとんどは AM スクリーニングで印刷されており、平滑性に優れ細かいディテールの再現性が高いという特徴を持つ FM スクリーニングは高級美術書など一部の印刷物に使われています。その一方で印刷中のドットゲインコントロールが難しいなどの課題もあります。また、ハイブリッドスクリーニングは、ハイライトとシャドウ部が FM、中間調が AM となっており、原反資材などハイライトの網点を維持するために利用されるケースがあります。

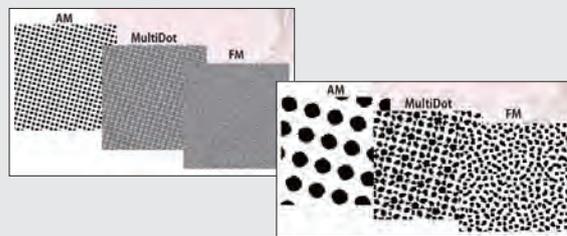
環境に優しい新次元のスクリーニング「MultiDot(マルチドット)」



AMとMultiDotの形状の比較



スクリーニング(網点)の比較



そこで今年日本で初公開したのが、「MultiDot(マルチドット)」というスクリーニング技術です。ポーランドの学生とハイデルベルグが開発したこの新しい網点は、インキ使用量を削減できる全く新しいスクリーニング技術です。インキ使用量を削減できる理由は網点の配置にあります。マルチドットは最適化された異なるサイズのクラスターを持つ、マルチクラスター構造を使用するテクノロジーです。スクリーンのドットを規則的な構造の小さなサイズのグループへと集約するテクノロジーで、従来のスクリーニング(スクリーンの間隔や角度)の性質や特長を維持しています。その結果、光学的ドットゲインの影響を大きく受けるとともに、特徴あるドット形成により、従来よりもインキ使用量を約20%削減することが可能になります。(絵柄の網点面積や環境によって変化します。)

マルチドットは従来のAMスクリーニング同様に規則的な配置を伴います。線数は150線と、現在の日本のAMの主流で

ある175線と比べると一見物足りなさを感じますが、網点の最小サイズは従来のAMよりも細かい結果的に細かい絵柄も鮮明に表現することが可能です。

さらにAMスクリーニングの課題であったロゼットパターンやモアレを防ぐことができ、出力や印刷工程は従来のAMスクリーニング同様のためAMスクリーニングから置き換えることが容易であることもマルチドットの特徴です。

マルチドットテクノロジーはオペレータにとって印刷しやすく、会社のコスト削減にも効果があるだけでなく、地球環境にも優しいテクノロジーです。

ハイデルベルグは印刷会社の新しい常識をサポートします。▶
ニューノーマル! ニュープロセス! ([linkedin.com](https://www.linkedin.com))



福島県印刷工業組合は昭和32年に設立され、今年で創立67周年を迎えます。独自の取り組みとして、福島県内の企業が携わったことをアピールするロゴマーク「Made in Fukushima」や、ふくしまに受け継がれてきた伝統を「いろ」を通して未来へ伝えていく「ふくしまの伝統色事業」を展開しています。



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に製造を依頼し発行したものです。

■ Made in Fukushima

「Made in Fukushima」は、福島県内のデザイン・印刷会社が発注を受けた印刷物に表示できるロゴマークです。このロゴを使用することで、その印刷物が福島県内で製造されたことと、発注した企業・団体が福島県の復興を支援していることを、広く社会へ伝えることができます。

ロゴデザインは東日本大震災前の豊かで美しい福島県を取り戻すことをイメージした「グリーン」を基調にデザインしています。また、東日本および福島県の地理的なイメージを、日本地図で分かりやすく表現しています。「Made in Fukushima」の文字をデザインに組み入れることで、福島のものづくりであることをストレートにアピールします。

■ ふくしまの色伝統色事業～ふくしまの伝統色彩調査と色彩文化の保存・発信～

創立60周年記念事業として、ふくしまに受け継がれてきた伝統を「いろ」を通して未来へ伝えていく「ふくしまの伝統色事業」を展開しています。福島・郡山・県南・会津・いわきの各支部の実行委員会メンバーが中心となって、鶴ヶ城・滝桜・桃・など、福島を象徴する計14種類の色を選定しました。そのどれもが福島県民の心に美しく刻まれた色彩であり、ふくしまを色濃く伝えるものです。

福島県印刷工業組合は、今回選定した14色を「ふくしまのいろ」と名付け、ロゴマークも制作いたしました。今後は「ふくしまのいろ」を県内外に広く発信するとともに、選定した色を子どもたちにも伝えていきたいと考えています。



■ 「ふくしまのいろ」色鉛筆

「ふくしまのいろ」の魅力を実感するためのツールとして、「ふくしまのいろ」色鉛筆を制作しました。色鉛筆は、「つるがじょう・たきざくら・もも」など、「ふくしまのいろ」に選定された14色がセットになったもので、色を塗る度、素朴で温かなふくしまにふれることができます。色鉛筆は、2018年から、福島県内の道の駅や書店などで販売しています。「ふくしまのいろ」色鉛筆は「ふくしまベストデザインコンペティション」で企画アイデア部門の「ゴールド(部門別最高賞)」を受賞し、「東北みやげコンテスト」でも大きな注目を集めました。



福島県印刷工業組合 事務局

〒960-8164 福島県福島市八木田字神明 94
TEL 024-544-1945 / FAX 024-544-1946
URL <https://www.f-pia.com/>



印刷の未来とAIが生成できないもの

さあ、はじめました。全青協カポッドキャストによろこぞ！私は、全国青年印刷人協議会の議長を拝命しております。大阪の新星印刷株式会社、西岡天芳です。

さて、今回は、今期の全青協活動テーマ「地域変態計画～アツギベンチャーが未来を変える～」によせて、「印刷の未来とAIが生成できないもの」について考えたいと思います。

生成AIの登場で、従来のビジネスモデルが長続きしなくなっているのは明らかです。これからの時代、生成AIとの協働はあたりまえになり、生成AIにできることをやっているだけでは、仕事が立ち行かなくなってしまうでしょう。では、生成AIは万能なのでしょうか。AIで生成できないものってないのでしょうか。AIが生成できないもの、私見ではありますが、例えば、土地、歴史、プロセス、つながり、信用などではないかと思えます。

印刷業界は100年企業が多数存在している稀有な業界です。昨今では、業界の出荷額や、ペーパーレスなどの負の側面ばかりに目を向けがちですが、別の視点から見ると、AIが生成できない強みを持っている可能性が非常に高いのです。この優位性は計り知れません。先代から受

け継いできた強みを活かさない手はありません。

もはや、危機感主導の意識変革ではなく、このチャンスを活かすことが重要です。この強みを活かした第二創業、すなわちアツギベンチャーになるべきでしょう。もちろん、簡単なことではないと十分に認識しています。自分や社内の現状維持バイアスに抗うには膨大なエネルギーが必要であり、不確定な未来に踏み出すには大きなプレッシャーに立ち向かわなければなりません。しかし、だからこそ、我々若手経営者には仲間の存在が不可欠なのです。そんな仲間たちと共に、先代から受け継いだ価値を、独自の視点と熱意、そして業界や地域の仲間とのコラボレーションを通じて、未来を具体化していくことが求められています。AIにできないことに注目し、印刷業界の強みを活かしながら、新たな価値を創造していくことが私たち若手経営者の使命なのです。未来は私たち次第で変えられるのです。さあ、共に未来を切り拓いていきましょう。

このページにポッドキャスト QRコードを掲載しておりますので、是非ともアクセスして全青協の活動を身近に感じてみてください！それでは、続きは、カポッドキャストで。

さよ～なら～。



交際費等から除かれる1万円基準

塚越税務会計事務所

<https://www.bizup.jp/member/tukakosi/>

令和6年度税制改正では、交際費等の損金不算入制度について、交際費等から除かれる飲食費等の金額が一人あたり1万円以下に拡充されました。従来は5,000円以下だったため、5,000円基準と呼ばれることが多かったのですが、今後は1万円基準と呼ばれることになるでしょう。今回はこの「1万円基準」について掘り下げていきたいと思います。

Q そもそも交際費等の損金不算入制度とはなんですか

A 交際費等の損金不算入制度は、原則として、法人の支出した交際費等の額を損金の額に算入することを認めないという制度です。これは、交際費等を減らして企業の内部留保を高める、つまり無駄遣いを抑制し、企業の体質をより良くしていく狙いがあるといわれています。

一方で、お客様と良好な関係を築くなどのための接待飲食費などは、企業の経済活動の活性化を図るためにある程度必要です。そのため、同制度では、交際費に該当する場合においても、一定の金額を損金に算入することが認められています。

なお、交際費等とは、次のように説明されています。

交際費、接待費、機密費その他の費用で、法人がその得意先、仕入先その他事業に関係あるもの等に対する接待、供応、慰安、贈答その他これらに類する行為のために支出するものをいいます。(引用：国税庁)

ただし、次に掲げる費用は、交際費等から除かれます。(全額が損金算入できる)

- ①専ら従業員の慰安のために行われる運動会、演芸会、旅行等の為に通常要する費用
- ②飲食等のために要する費用(社内飲食費を除く)であって、その支出する金額が一人あたり1万円以下のもの
- ③カレンダー、手帳、うちわ、手ぬぐいその他これらに類する物品を贈与するために通常要する費用
- ④会議に関連して、茶菓子、弁当その他これらに類する飲食物を供与するために通常要する費用
- ⑤新聞、雑誌等の出版物又は放送番組を編集するために行われる座談会その他記事の収集のために、又は放送のための取材に通常要する費用

この②が、今回の1万円基準のお話です。

Q 交際費等から除かれる1万円基準について教えてください

A 飲食等のために要する費用であって、その支出する金額が一人あたり1万円以下のものは、交際費等の損金不算入額の計算上、交際費等から除外することができます。この1万円基準の適用にあたっては、次のことに留意する必要があります。

- ①一定の事項を記載した書類(次のQ&A参照)の保存が必要です。
- ②金額の判定は税抜経理であれば税抜金額で判定し、税込経理であれば税込金額で判定します。
- ③飲食費が一人あたり1万円を超えた場合、1万円以下の部分のみを交際費等から除外することはできず、その全額が交際費等に該当することになります。

Q 上記①一定の事項を記載した書類とは、どのようなものですか

A 1万円基準を適用するために必要な一定の事項を記載した書類とは、次に掲げる事項が記載された書類です。

- ①飲食等の年月日
- ②飲食等に参加した得意先、仕入れ先その他事業に関係ある者等の氏名又は名称及びその関係(注)
- ③飲食等に参加した者の数
- ④その費用の金額並びに飲食店等の名称及び所在地
- ⑤その他参考となるべき事項

これらの記載がない場合は、1万円基準を適用することができませんので、仮に一人あたり1万円以下の飲食費であったとしても交際費等の額に含めることとなります。

(注)自社の関係者だけの飲食費等では適用されません。

Q 1万円基準はいつから適用されるのでしょうか

A 一般に、税制改正は令和6年4月1日以降に開始する事業年度から、といったように新年度から適用されるものが多いです。しかし、1万円基準は令和6年4月1日以降に支出する飲食費等から適用されます。つまり、事業年度に関係なく今年の4月1日以降の飲食費等であれば、1万円基準を適用し、交際費等の損金不算入制度の計算をするということになります。

なお、令和6年3月31日以前に飲食等をし、クレジットカードで決済したことにより支払いが令和6年4月1日以降になったものについては、1万円基準を適用することはできず、従来の5,000円基準により判定します。

一般的な内容を前提として回答してあります。具体的な個別事例は、事前に専門家へご相談ください。



令和6年度 上期地区印刷協議会開催結果

令和6年度の上期地区印刷協議会は、6月14日の北海道地区印刷協議会・中部地区印刷協議会を皮切りに、全国9地区で印刷協議会が行われた。今回の地区印刷協議会の全体会議では、瀬田会長および橋本・福田両副会長からの挨拶、正副会長による「令和6年度事業テーマ、組織・委員会機構」の説明、全印工連の事業概要説明が行われ、理事長会及び各分科会も併せて行われた。

●各地区の開催状況(開催順)は以下の通り。

| 地区 | 開催日 | 参加者(名) | 全印工連からの出席者 |
|--------|-----------------|--------|--------------------------|
| 北海道 | 6月14日(金) | 40 | 橋本副会長、高橋専務理事 |
| 中部 | 6月14日(金) | 54 | 瀬田会長、高本副会長、長島事務局長 |
| 東京 | 6月18日(火) | 106 | 瀬田会長、高橋専務理事 |
| 東北 | 6月19日(水) | 60 | 瀬田会長、高橋専務理事、木村常務理事 |
| 近畿 | 6月21日(金) | 55 | 瀬田会長、浜田常務理事、長島事務局長 |
| 九州 | 6月21日(金) | 56 | 福田副会長、高橋専務理事、関野常務理事 |
| 中国 | 6月28日(金) | 32 | 瀬田会長、小島常務理事、長島事務局長 |
| 四国 | 6月28日(金)・29日(土) | 36 | 橋本副会長、福田副会長、酒井副会長、高橋専務理事 |
| 関東甲信越静 | 7月5日(金)・6日(土) | 73 | 瀬田会長、高橋専務理事、富澤常務理事 |

全国の印刷関連イベントのお知らせ

今後開催予定の全国の印刷関連イベントの開催日、イベント名、開催場所をお知らせいたします。多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

| 開催日 | イベント名 | 開催場所 |
|-----------------|-------------------------------|------------------------|
| 9/4(水)~5(木) | HOPE2024(HOKKAIDO PRINT EXPO) | アクセスサッポロ(北海道札幌市) |
| 9/11(水) | 2024年「9月印刷の月」記念式典(日印産連) | ホテルニューオータニ(東京都千代田区) |
| 9/27(金) | 2024全印工連フォーラム | スイスホテル南海大阪(大阪府大阪市) |
| 10/18(金)~19(土) | 第18回2024印刷産業夢メッセ | 広島ガーデンパレス(広島県広島市) |
| 10/23(水)~25(金) | ラベルフォーラムジャパン2024 | 東京ビックサイト(東京都江東区) |
| 1/8(水) | 2025年新年交歓会(日印産連) | The Okura Tokyo(東京都港区) |
| 2/15(土)~2/16(日) | ペーパーサミット2025 | 大阪産業創造館(大阪府大阪市) |
| 2/19(水)~2/21(金) | page2025 | サンシャインシティ(東京都豊島区) |
| 3/13(木)・14(金) | JP2025・印刷DX展 | インテックス大阪(大阪府大阪市) |

印刷ビジネスの課題を共に解決



受注拡大

デジタルを活用した受注体制の強化で顧客拡大を支援

印刷物への多様な付加価値創造で他社との差別化を支援



生産性向上

自動化やスキルレスでの作業性で効率化&工数削減

生産プロセスのスリム化で生産性&利益率向上



環境配慮

SDGsや環境課題解決への取り組み支援

働き方改革など事業継続に必要な社内環境構築支援

多様な視点で
印刷の未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

コニカミノルタ ジャパン株式会社

つながるプリントラボ

検索

プロフェッショナルプリント事業部 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL. 03-6311-9061

RICOH
imagine. change.

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、それぞれの解決策を導き出していきます。

リコージャパン株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 <https://www.rioh.co.jp/>

Horizon
Change the focus

ホリゾン・ジャパン株式会社
www.horizon.co.jp

▶使いやすく進化した無線綴じ製本機

無線綴じ機 ICE BINDER BQ-300

新世代15インチパネルHorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



ICE BINDER

SCREEN

印刷市場に革新をもたらす。



フルカラーバリアブルプリンティングシステム

Truepress JET 560HDX

詳しくはこちら



株式会社 SCREEN GP ジャパン 本社/03(5621)8266(代)
〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマトネ深川1号館

株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ
www.screen.co.jp/ga

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト

印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

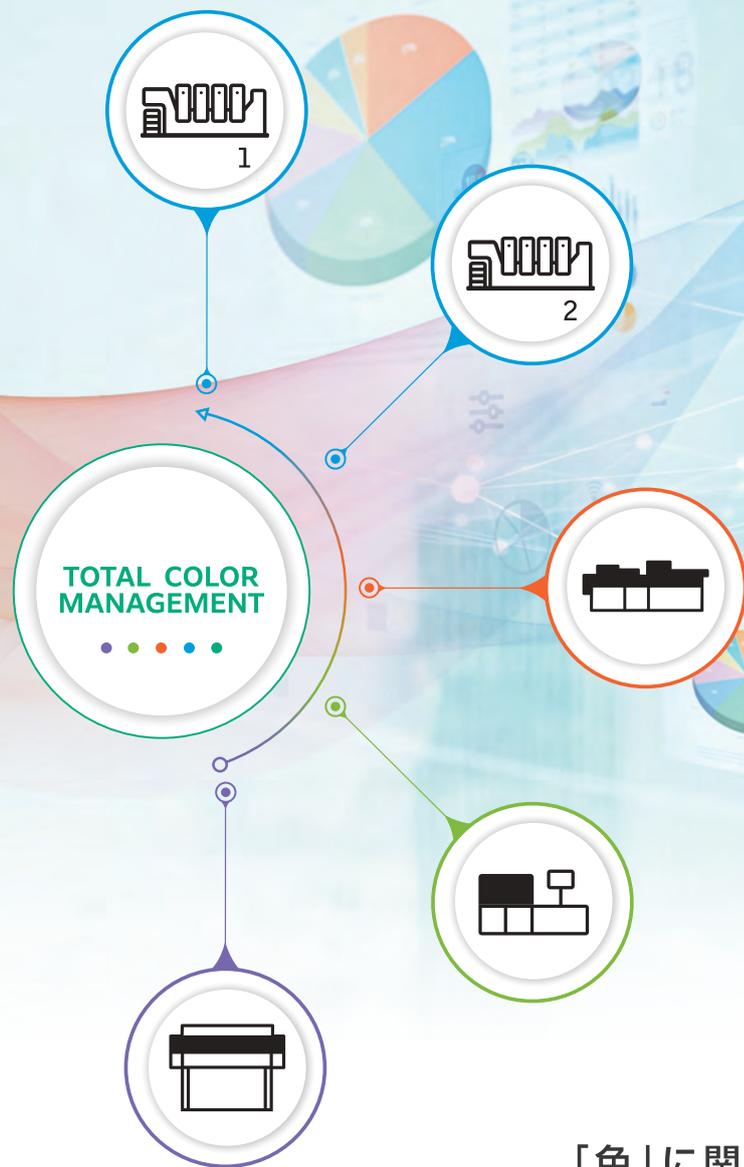
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



FUJIFILM
Value from Innovation



「色」に関する課題を共に解決し、
生産効率の最大化を目指す
トータルソリューション。

総合カラーマネージメントソリューション

FFGS QC Navi

さまざまなジョブをつねに最適なコスト・時間で生産するには、
工程全体の品質の統一と安定化が必要です。
すなわち、「オフセット印刷・デジタル印刷の色品質が統一され、安定した状態」。
この理想的な生産環境の実現に向け、富士フィルムは、
長年にわたる印刷診断活動で得たデータや、独自の知見・ノウハウを活かし、
お客さまの生産設備に合わせた課題解決から、色品質の維持管理まで、
ワンストップでサポートいたします。

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社



この印刷物は、CSR
に取り組み印刷会社が
製作した印刷物です。

P-00082



この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。

GREEN PRINTING JPPI
P-B10026